



T

退院後も

T

つながります

A

あなたの

K

ところとからだ

H27年9月
T・TAK発行

夏も終わりと申しながらまだまだ暑い日が続きますが、皆様はお元気で
お過ごしでしょうか？

今回は、昨年1月より開設されました『訪問看護ステーション プラム』で
介護支援専門員（ケアマネージャー）として従事している小玉由貴さんが取得
されました『認知症ケア専門士』についての紹介です。



認知症ケア専門士の紹介

（小玉由貴さん）

◎認知症ケア専門士とは、どんなことをする人ですか。

日本認知症ケア学会が認定する更新制の資格（民間資格）で、認知症ケアに対する学識と技術、
および倫理観を備え、ケア技術の向上ならびに保健福祉に貢献する事を目的としています。認知症
に対する相談や研究・学会発表をしています。



◎その資格を知ったきっかけは？

前職場の先輩が資格を持っていました。

◎認定を受けるにはどのような資格や勉強が必要ですか？

受験する年から過去10年間において、3年以上の認知症
ケアの実務経験がある方に限られます。勉強内容としては
認知症の人が過去、どんな扱いを受け現在に至るか、最新の
研究データ、効果的な対処方法等です。あと、倫理観的なもの
です。

◎試験を受けての苦労話や感想を聞かせてください。

一次試験会場が京都で、一人で行って迷子になり焦りました。

試験を受けるというのは、受験生のような非日常的な緊張感と達成感があってよいと思っています。

◎この資格を活かせる場面はどんな場所・時でしょうか？

認知症を抱える家族さんから、相談を受けた時に自信を持って相談を受けられるようになると思います。

認知症の方は増加の一途、65歳以上で6人に1人は抱えていると推定されます。施設、病院を問わず、
日常的に活かす機会は増えてくるのではないのでしょうか

◎今後の抱負を聞かせてください。

これからも、地域の方々と共に温かい街づくりに貢献していきたいです。

地域包括ケアシステムの構築に向けて、自分にできる地域づくりをしたいと考えています。

忙しいところ、お話を頂きありがとうございました。
介護のニーズは高まり続けている中、益々のご活躍を期待しております。

今後も、IHI播磨病院の各部門・先生・スタッフの紹介をします。

次回のT・TAK新聞もお楽しみに！！

バックナンバーは 病院ホームページ <http://www.harima-hp.jp> からご覧いただけます。

by : K.K & K.T

